

# みんなにやさしい、特別支援教育（1）

## ◆目からの情報を加えて話す

今年度が始まって、3週間目に入りました。子どもたちも落ち着いて学習に取り組んでいるようです。今年から学級の担任としてT先生が意欲的に取り組んでいただいています。いろいろな子どもたちが7名の中で、Y先生と悪戦苦闘の日々だと思います。

そんな中で、写真のような指示カードを使いながら学習を進めておられます。言葉だけの説明では具体的なイメージをつくるのは大人でもむずかしいことです。ですから、目からの情報も付け加えて話すことで、具体的な理解が進むこととなります。また、耳からの情報は、意識しないと抜け落ちてしまい、ふっと違うことに気が向いた瞬間、耳から入ってくる教師の言葉は、ただの雑音になってしまうものです。しばらくして、もういちど教師の話に意識をもどしても、前後の脈絡がきれてしまって、何を言っているのかわからないことが多々あります。

そんなとき、目に見える指示カードがあれば、耳からの情報を補ってくれ、理解をつなぐことができます。

このことは、特別支援学級だけではなく通常学級でも大切なことです。



（N先生手作りの指示カード）